

# 東浦町地域公共交通利便増進実施計画 (案)

令和6年 月

東浦町



## — 目次 —

<b>1. 計画策定の背景と目的</b>	<b>1</b>
1) 計画策定の背景と目的.....	1
2) 地域公共交通計画における基本的な方針と計画目標.....	2
<b>2. 実施区域と実施予定期間</b>	<b>6</b>
1) 実施区域.....	6
2) 実施予定期間.....	6
<b>3. 地域公共交通利便増進事業の内容・実施主体</b>	<b>7</b>
1) 利便増進事業の分類.....	7
2) 利便増進事業の内容と実施主体.....	8
(1) 「う・ら・ら」の路線変更.....	8
(2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携の強化.....	27
<b>4. 事業実施に必要な資金の額・調達方法</b>	<b>28</b>
<b>5. 事業の効果</b>	<b>29</b>
1) 事業の効果.....	29
2) 地域公共交通計画の目標に対する利便増進事業の位置づけ.....	30
3) 目標値設定の根拠.....	34
<b>6. 地域公共交通利便増進事業に関連して実施する事業</b>	<b>35</b>
<b>7. 東浦町による支援の内容</b>	<b>38</b>

## I. 計画策定の背景と目的

### I) 計画の背景と目的

#### ①計画策定の背景

本町では、これまで増加してきた人口が近年は概ね横ばいで推移しており、今後は人口減少や全国と同様、少子高齢化の進行により高齢者人口が増加しています。加えて、令和2年（2020年）以降の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行に伴う生活様式の変化により公共交通利用者が減少傾向にありましたが、本町行政バス「う・ら・ら」においては回復しつつあり、「う・ら・ら」を中心に公共交通全体の利用を促し、公共交通の維持存続を図っていく必要があります。

公共交通が担うべき役割は、移動制約者（高齢者・障がい者・妊産婦・子ども等）の移動手段を確保することはもとより、外出したくなる仕掛けづくりによる交流の活発化、まちのにぎわいの創出、高齢者の運転免許自主返納促進への協力、さらに健康増進、コンパクトシティの実現、脱炭素社会への対応といった町の政策への貢献等、多面的なものが求められています。

そのため、東浦町地域公共交通計画（以下、地域公共交通計画）における基本的な方針や計画目標に基づき、より多くの方に利用していただけるような公共交通ネットワークの再編、運賃・ダイヤ等の見直しも含めた利用者の利便の増進に資する取組を示す「東浦町地域公共交通利便増進実施計画」（以下、利便増進実施計画）を策定することとしました。

#### ②計画策定の目的

地域公共交通計画では、方針1を中心とした実施事業I-1「「う・ら・ら」、路線バスの経路及びダイヤの見直し」により環状線を廃止し、平池台線と東ヶ丘線を新設します。また、巽ヶ丘駅への乗り入れを実現し、「う・ら・ら」他路線や他の公共交通機関との乗り継ぎ利便性を確保します。

また、I-3「知多バス「東ヶ丘団地線」の利便性向上」として、知多バス「東ヶ丘団地線」と同経路を「う・ら・ら」が運行し、また同運賃にするなど、「う・ら・ら」と知多バス「東ヶ丘団地線」の共栄・共存を図ることで、全体的な運行本数も増え、利用者の利便性を向上させます。

本計画は、以上2つの事業を中心としつつ、効果を高める利用促進事業も併せて実施します。

## 2) 地域公共交通計画における基本的な方針と計画目標

### ① 計画の位置づけ

第6次東浦町総合計画においてコンパクトなまちづくりとして、町運行バス「う・ら・ら」の充実などを図り、JRや名鉄の鉄道駅やバス停周辺を中心住む人や働く人が移動しやすく暮らしやすいまちづくりを進めることとしています。

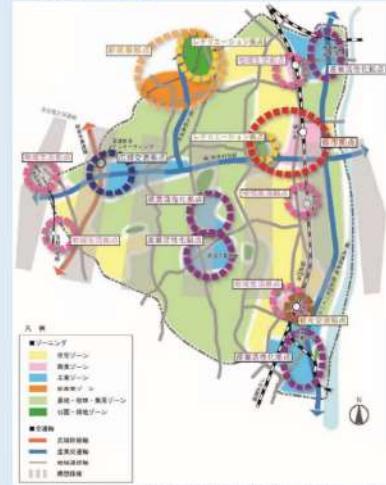
移動しやすく交流できるまちを目指して、利便性向上を図っていくこととしています。

総合計画に基づき、都市計画マスター プランにおいても利用促進や運行改善などを位置付けています。

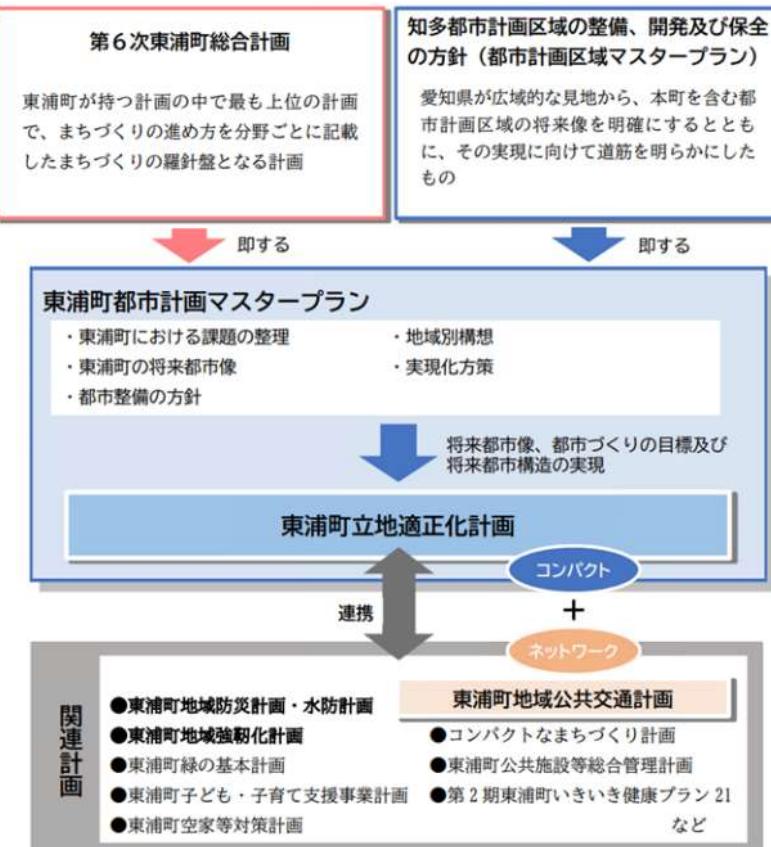
東浦町立地適正化計画では、「コンパクト+ネットワーク」として位置づけられており、目指すべき都市構造としては、JR緒川駅周辺で町の中心となる拠点を形成し、町西部の市街地から都市拠点に立地する都市機能のサービスを享受できる公共交通のネットワークを形成することとしています。

- 知多都市計画区域マスター プランでは、名鉄知多半田駅を区域拠点として、南北方向の鉄道により各地の都市拠点（鉄道駅など）を結ぶことを目指しています。
- 第6次東浦町総合計画では、将来の土地利用の方針として、移動しやすく暮らしやすいコンパクトなまちを目指しています。
- 都市計画マスター プランでは、東西に地域生活拠点、中部にも各種拠点（産業・レクリエーションなど）を配置し、東西の拠点を結ぶ道路整備と公共交通の充実を目指しています。また、都市づくりの方向性として、公共交通の利用しやすさの向上、町運行バス「う・ら・ら」の利用促進や運行改善などを位置付けています。

■将来都市構造図



【資料：東浦町都市計画マスター プラン】



## ②東浦町地域公共交通計画の概要について

東浦町地域公共交通計画【令和4年度（2022年度）4月から令和11年度（2029年度）9月予定】

東浦町の公共交通が目指す姿

移動しやすく交流を生む「おでかけ」環境の実現

### （1）課題

地域公共交通計画において、公共交通に関する問題点を整理し、次の3つの課題に整理しています。これらの課題を受け、路線全体を見直し、持続的な移動手段の確保と、利便性向上による利用促進を図っていきます。

	分類	課題
	課題1 公共交通の利便性向上に関するもの	<p>① 駅・バス停勢圏のカバー率の上昇や、運行台数の増加等による財政投入額の増額があつたが、満足度は目標に達していない。</p> <p>➢ カバー率、財政投入額とは異なる、<b>サービス水準の向上を評価する指標の新設が必要。</b></p> <p>➢ 生路・藤江・緒川新田地区で行きたい場所として要望のある異ヶ丘駅への移動利便性向上が必要。</p> <p>② 「う・ら・ら」の満足度、及び「東浦町の公共交通全体」の満足度については、どちらも利用頻度が高い人ほど満足度は高く、利用頻度の低い人ほど満足度は低い。</p> <p>➢ 満足度という指標が主観的なものであるため、<b>利便性向上の結果をより定量的に評価できる指標が必要。</b></p> <p>③ 令和元年10月のダイヤ改正より、既存路線から大幅に運行ルートを変更したことで、一定数の利用者離れがあった。</p> <p>➢ 利用者減の一因として、緒川新田地区から緒川駅の区間運行の減便、最終バス時刻の繰り上げ等が考えられるため、<b>新路線の評価、「新たな移動手段」を用いた実証実験の検討・協議が必要。</b></p> <p>➢ 環状線の誤乗が多い、間違った行先に乗ってしまったのではないかという心配を抱いて乗車するとの意見を多く頂いたため、<b>分かりやすく、安心して乗車できる環境づくりが必要。</b></p> <p>④ 高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数は、目標値の1.4倍以上に達したが、依然として高齢者の免許保有率は高く、70歳代でも7割以上、80歳以上でも半数が保有している。また、高齢者の外出頻度は、60歳代から減少はじめ、80歳以上で顕著に減少する。</p> <p>➢ 福祉部門で提供される移動サービスの周知や、<b>「新たな移動手段」を用いた実証実験の検討・協議が必要。</b></p>
2	課題2 公共交通の	① 「う・ら・ら」の満足度、及び「東浦町の公共交通全体」の満足度については、どちらも利用頻度が高い人ほど満足度は高く、利用頻度の低い人ほど満足度は低い。

	利用促進に関するもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「う・ら・ら」、民間バス、タクシーといった公共交通に不慣れな人への配慮や働きかけが必要。</li> </ul> <p>② 高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数は、目標値の1.4倍以上に達したが、依然として高齢者の免許保有率は高く、70歳代でも7割以上、80歳以上でも半数が保有している。また、高齢者の外出頻度は、60歳代から減少しはじめ、80歳以上で顕著に減少する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 引き続き高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納支援事業を実施するとともに、高齢者（65歳以上）が免許返納以前から公共交通に慣れ親しめるような配慮や働きかけが必要。</li> <li>➤ 福祉部門で提供される移動サービス及び、病院・商業施設等の民間事業者による送迎サービスの周知活動が必要。</li> </ul>
3	課題3 公共交通の維持存続に関するもの	<p>① 「う・ら・ら」の利用者数、タクシー利用台数が大幅に減少。本計画の前身である「東浦町地域公共交通網形成計画」には、公共交通の維持存続を目的とした事業や、それに紐づく目標・指標等が設定されていない。また、民間バスにおいては、利用者数に関する指標も設定されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 公共交通の維持存続を図るための取り組みと、公共交通サービス全体を底上げするような評価の仕組みが必要。</li> </ul>

## (2) 基本方針

### ■方針1 「もっと使いやすいものに」

- ・主な目的地に行きやすい公共交通サービスの確保や、わかりやすく、使いやすい環境を整える取り組みを推進

### ■方針2 「もっと使いこなせるように」

- ・公共交通の周知・体験会等の機会を拡充し、住民、地域にとって、公共交通が身近になることで、活発な交流を促す取り組みを推進

### ■方針3 「ずっと使い続けられるように」

- ・公共交通を将来にわたって確保・維持し、住民生活を支える地域の足を守る取り組みを推進

## (3) 目標

①公共交通利用頻度の向上 方針1、方針2

②公共交通利用者数・利用台数の増加 方針1、方針2、方針3

③町運行バス「う・ら・ら」各路線・系統の利用者数の増加 方針1、方針2、方針3

④駅勢圏半径 800m、バス停勢圏半径 300mにおける人口カバー率の向上 方針1

⑤各地区（小学校区の代表バス停）から主要地点・施設への「行きやすさ」の向上 方針1

⑥高齢者（65歳以上）の外出頻度の向上 方針1、方針2

⑦年代別外出頻度の向上 方針1、方針2

⑧他人と会話や交流ができる“おでかけ先”に町運行バス「う・ら・ら」利用で行く人の割合の向上  
方針1、方針2

⑨高齢者（65歳以上）の運転免許自主返納件数の増加 方針2

⑩最寄りバス停の認知度の向上 方針2

⑪町運行バス「う・ら・ら」収支率の向上 方針3

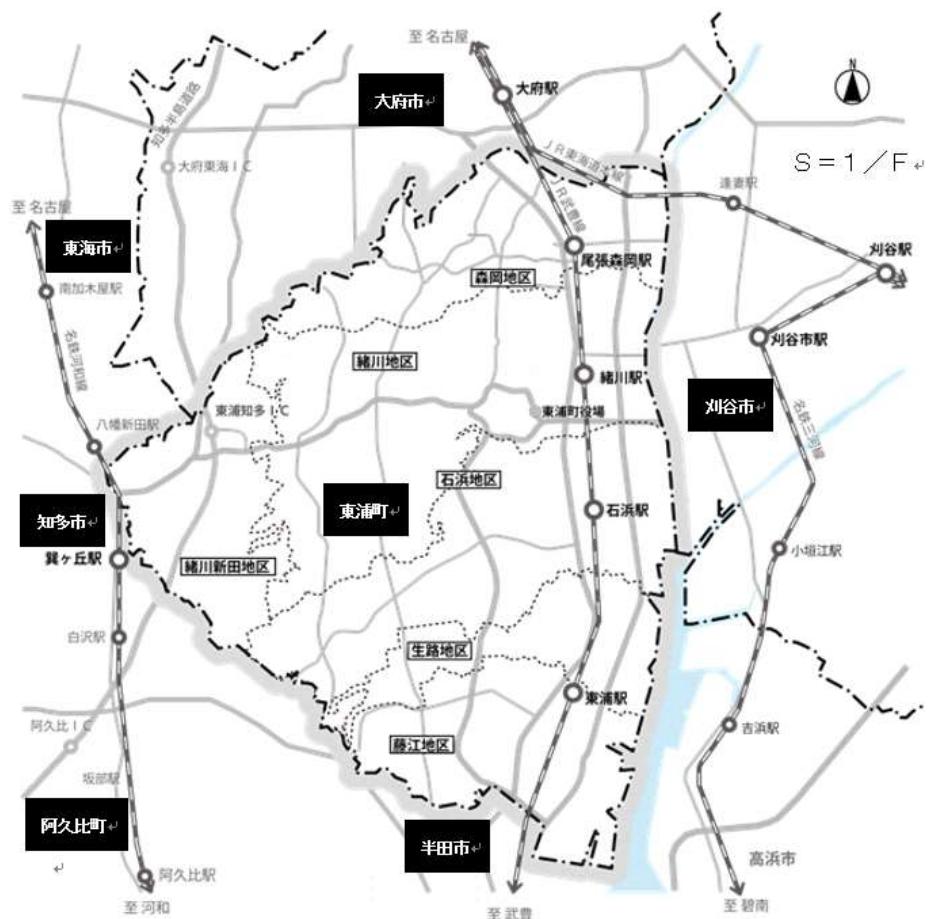
## 2. 計画実施区域と実施予定期間

### I ) 实施区域

本計画の計画区域は、地域公共交通計画に基づき、町全域の地域公共交通の利便増進を図ることを想定し、町全域を対象区域に設定します。

また、町が運営する公共交通については、近隣自治体等（刈谷市・大府市・東海市・知多市・阿久比町）へも発着を予定しているため、近隣自治体と密接な連携を図り、町外アクセスについても施策を展開します。

また、知多バス東ヶ丘団地線との連携強化により、利便性の向上を図ります。



## 2) 実施予定期間

計画期間は、地域公共交通計画の期間を踏まえて、令和6年（2024年）10月から令和11年（2029年）9月までとします。

なお、1年後に不具合が生じた場合は見直しを行います。

### 3. 事業の内容・実施主体

#### I) 利便増進事業の分類

地域公共交通利便増進事業は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律（以下「地域交通法」において「地域公共交通の利用の容易性の向上又は利用の円滑化その他の地域公共交通の利用者の利便の増進を図るために行う事業」と示されています。

以下に事業内容の分類に対応した本計画で位置づける利便増進事業を整理します。

事業内容の分類	本計画で該当する利便増進事業
一般乗合旅客自動車運送事業に係る路線等の編成の変更 (地域交通法第二条十三項イ(1))	(1) 「う・ら・ら」の路線変更 ・環状線を平池台線と東ヶ丘線に分け、翼ヶ丘駅の乗り入れを実現する。 ・ニーズ調査で把握した課題に対応したダイヤを設定することで、総合的な利便性の向上を図る。
利用者が期間、区間その他の定められた条件の範囲内で地域公共交通を利用することができる運賃又は料金の設定その他これに類する運賃又は料金の設定 (地域交通法第二条十三項ロ(1))	(2) 知多バス東ヶ丘団地線との連携強化 ・知多バス東ヶ丘団地線の運賃を、同経路を運行する「う・ら・ら」と同額にし、民間バスとの共存共栄を目指す。

上記事業と併せて行う事業であって、地域公共交通の利用者の利便の増進を図るための事業  
(地域交通法第二条十三項ハ)

##### (1) 公共交通を安心して利用できる情報の提供

- ・分かりやすい時刻表の作成
- ・公共交通の利用を促す「公共交通パンフレット」を作成し、「う・ら・ら」をはじめ、民間バス、タクシー等の乗り方やおでかけ先の提案を行う。
- ・バスロケーションシステムによる運行状況の発信
- ・利用者の多いバス停や乗り継ぎバス停にデジタルサイネージを運用する。
- ・AIカメラを設置し、混雑状況の案内や乗降に関するデータ収集

##### (2) 利用促進事業

- ・園児や高齢者に対する乗り方教室
- ・利用促進を目的とした「う・ら・ら」を利用したイベントの開催

- ・(ICカード導入による特典の設定)

### (3) 公共交通の運賃支払い方法の多様化

- ・「う・ら・ら」回数券を民間バス、タクシーに金券として使用する。(継続実施)
- ・「う・ら・ら」の他路線へ、無料で乗り継ぐことができる乗継券を発行する。(継続実施)

## 2) 利便増進事業の内容と実施主体

本計画で位置づける利便増進事業の内容と実施主体を以下に記載します。

### (1) 「う・ら・ら」の路線変更

#### A : 事業の内容と実施主体

地域公共交通計画施策Ⅰ		方針1	方針2	方針3
事業Ⅰ-1 「う・ら・ら」、路線バスの経路及びダイヤの見直し		○	○	○
利便増進事業 内 容	・環状線、東浦高校線（於大公園南経由）、長寿医療研究センター直行便を統廃合し、平池台線、東ヶ丘線を新設します。 ・新設した2路線を名鉄翼ヶ丘駅へ乗り入れ、町内各地から、名鉄翼ヶ丘駅へ乗り入れます。			
実施主体	東浦町、知多乗合株式会社			

#### B : 「う・ら・ら」の運行目的

- ・移動しやすく交流を生む「おでかけ」環境の実現を目指します。
- ・通院、買い物、通勤通学等の日常生活の移動手段とします。
- ・小学生の通学便として利用します。
- ・他の公共交通機関との乗継も可能にし、公共交通ネットワークの構築をします。

## C：「う・ら・ら」の路線再編

### 〈旧路線の課題〉

- ・環状線の運行時間が長く、運転手の休憩時間や他路線への乗り継ぎなど、フレキシブルな対応が難しい。
  - ・東浦高校線於大公園南経由が他路線、他経路と運行ルートが重なっており、利用者が伸びない。

再編前



## 〈新規路線の内容〉

- ・環状線、東浦高校線（於大公園南経由）、長寿医療研究センター直行便を統廃合し、平池台線、東ヶ丘線の新設
- ・新設した2路線を名鉄翼ヶ丘駅へ乗り入れ
- ・東ヶ丘線を知北平和公園へ乗り入れ
- ・ニーズのあった地域のバス停新設



### I. 平池台線（新規路線）

#### I. 平池台線

運行方法	・現行路線（環状線）では、運行時間が長く、ニーズの多い時間帯のダイヤ設定が困難でした。また、環状線では右回り・左回りで最短の目的地が異
------	---

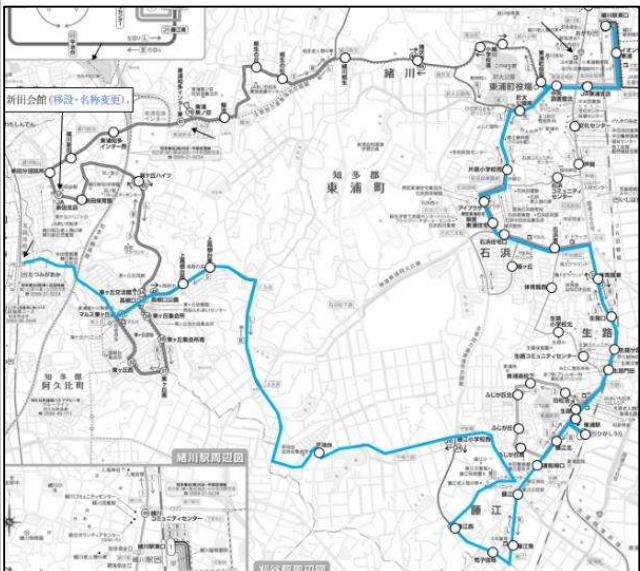
	<p>なるため、誤乗車もあり、時刻表や路線図についてもわかりづらいとの声がありました。</p> <p>→平池台線は、緒川駅から東浦駅を経由し、新たに翼ヶ丘駅に乗り入れる路線です。それにより、西知多総合病院への通院を可能にします。また、乗務員の休憩場所に翼ヶ丘駅が増えたことで、休憩時間の調整ができ、緒川駅で他路線との乗継利便性が向上しています。さらに、行き先も分かりやすくなることから、誤乗車を防ぐことができます。</p>
系統設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の環状線では、右回りが6系統、左回りが4系統ありますが、利用者のニーズへの対応は十分ではありません。</li> </ul> <p>→環状線を平池台線と東ヶ丘線に分け、通学時間帯とニーズの多い時間帯へのダイヤ設定を実現し、利用者の生活パターンに合わせた系統設定を行います。</p>
定時制	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤退勤の時間帯に交通渋滞による遅延が発生しています。</li> </ul> <p>→遅延発生時間帯の運行ダイヤや休憩時間に余裕をもち、遅延に対応できるようにしています。</p>
乗換	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能</li> <li>「翼ヶ丘駅」で「う・ら・ら」東ヶ丘線、知多バス東ヶ丘団地線、知多市コミュニティ交通、阿久比町循環バス、名鉄河和線と乗継可能</li> </ul>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし 12月31日～1月1日は除く）
運賃	一乗車 100円
総停留所	
車両	中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：310cm） ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）
運行時間帯	平日：7時台から19時台 土日祝：9時台から19時台
1便あたり所要時間	約20分～50分

#### 起終点及び主な経過地・運行回数

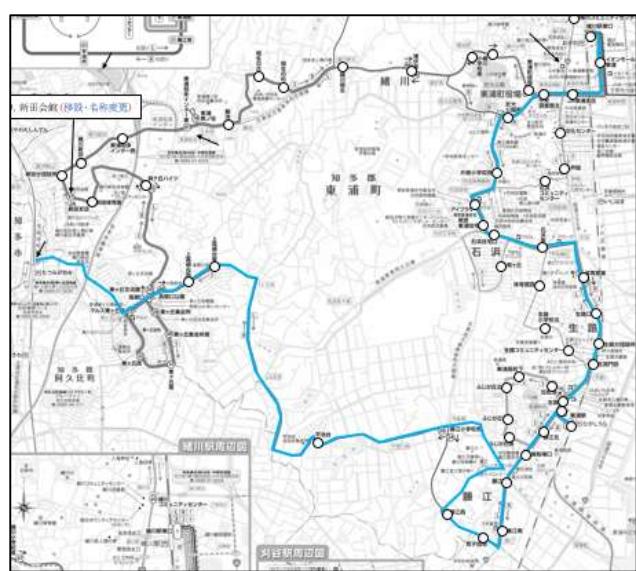
		運行回数		運行距離
		往路	復路	

系統 ①	翼ヶ丘駅～マルス東ヶ丘店（北）～東浦駅～アイプラザ ～於大公園南～東浦町役場～イオンモール東浦～緒川駅東口	5	7	16.1km
系統 ②	翼ヶ丘駅～マルス東ヶ丘店（北）～東浦駅～アイプラザ ～於大公園南～イオンモール東浦～緒川駅東口	1	-	15.8km
系統 ③	翼ヶ丘駅～マルス東ヶ丘店（北）～東浦駅	1	3	9.7km
系統 ④	東浦駅～アイプラザ～於大公園南～イオンモール東浦～緒川駅東口 (平日のみ)	1	-	6.1km

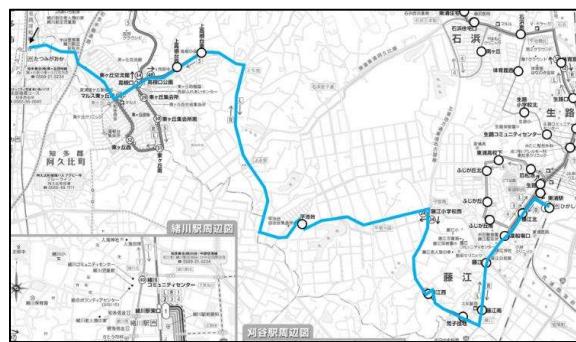
系統①



系統②



系統③



系統④



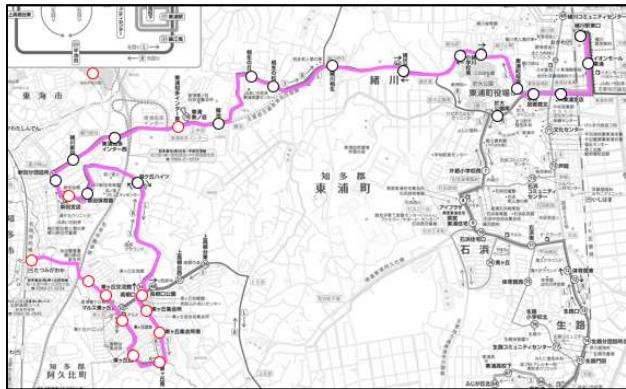
## 2. 東ヶ丘線（新規路線）

2. 東ヶ丘線	
運行方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行路線（環状線）では、運行時間が長く、ニーズの多い時間帯のダイヤ設定が困難です。また、環状線では右回り・左回りで最短の目的地が異なるため、誤乗車もあり、時刻表や路線図についてもわかりづらいとの声がありました。</li> </ul> <p>→改正後は、知北平和公園、東ヶ丘団地を経由する緒川駅と巽ヶ丘駅間を運行する路線となります。それにより、西知多総合病院への通院を可能にします。また、乗務員の休憩場所に巽ヶ丘駅が増えたことで、休憩時間の調整ができ、緒川駅で他路線との乗継利便性が向上しています。さらに、行き先も分かりやすくなることから、誤乗車を防ぐことができます。</p>
系統設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>現行の環状線では、右回りが6系統、左回りが4系統ありますが、利用者のニーズへの対応は十分ではありません。</li> </ul> <p>→環状線を平池台線と東ヶ丘線に分け、小学生の通学時間帯とニーズの多い時間帯へのダイヤ設定と以前より要望のあった知北平和公園への乗り入れを実現し、利用者の生活パターンに合わせた系統設定を行います。</p>
定時制	<ul style="list-style-type: none"> <li>通勤退勤の時間帯に交通渋滞による遅延が発生しています。</li> </ul> <p>→遅延発生時間帯の運行ダイヤや休憩時間に余裕をもち、遅延に対応できるようにしています。</p>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月1日は除く）
運賃	一乗車100円
総停留所	
車両	中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：310cm） ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）
運行時間帯	平日：7時台から19時台 土日祝：9時台から19時台
1便あたり所要時間	約20分～50分

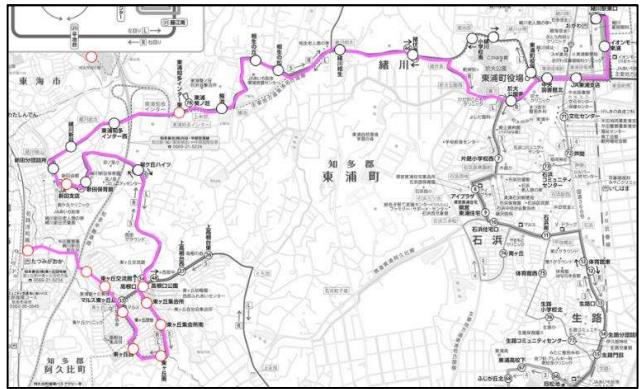
## 起終点及び主な経過地・運行回数

	起終点及び主な経過地	運行回数		運行距離
		往路	復路	
系統①	緒川駅東口～東浦町役場～緒川小学校南～相生の丘～巽ヶ丘駅 ※復路は平日・通学日のみ	6	1	12.1km
系統②	緒川駅東口～東浦町役場～於大公園南～相生の丘～巽ヶ丘駅	-	5	12.4km
系統③	緒川駅東口～東浦町役場～緒川小学校南～相生の丘～知北平和公園～巽ヶ丘駅	3	-	13.5km
系統④	緒川駅東口～東浦町役場～於大公園南～相生の丘～知北平和公園～巽ヶ丘駅	-	3	13.6km
系統⑤	緒川駅東口～緒川小学校南～相生の丘 ※通学日のみ運行	-	1	3.4km

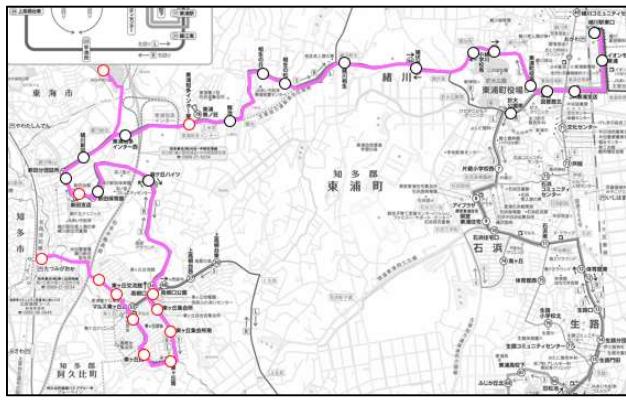
系統①



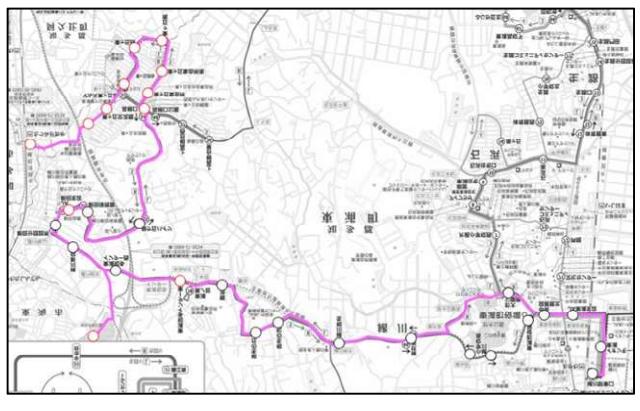
系統②



系統③



系統④



## 系統⑤



### 3. 東浦高校線（従来路線）

#### 5. 東浦高校線（旧東浦高校線文化センター経由）

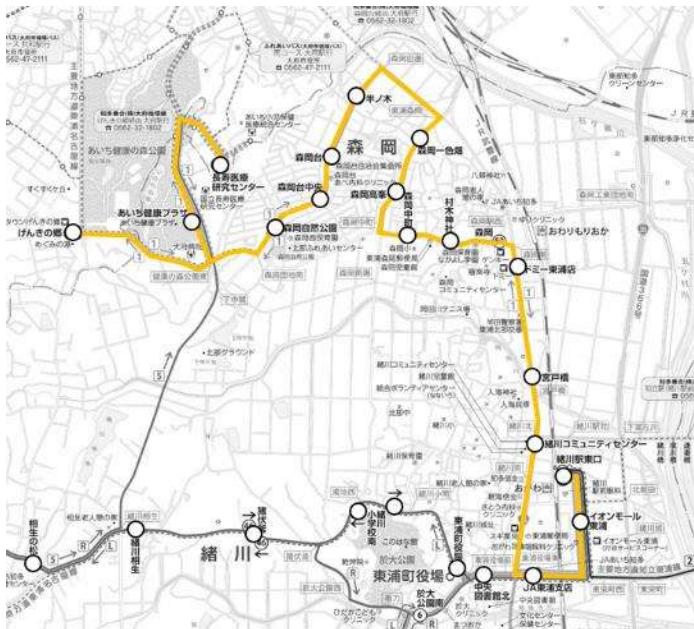
運行経路	<p>従来と変更はありません。</p> <p>緒川駅東口と東浦駅を結ぶ路線です。</p> 
利用内容	狭路地域（ふじが丘、文化センター周辺）のニーズに対応するものです。
新ダイヤ	<p>平日は1便増、休日は1便減とします。夕方以降の利用が少ないこともあります、最終便を現行から早く設定しています。</p> <p>現行は小型車（13人乗り）ですが、ポンチョ型バス（ノンステップバス・35人乗り）に変更します。これにより、乗りこぼしを防ぎ、より安心して乗車できるようにします。</p>
乗換	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒川駅東口」で全路線と乗継可能</li> <li>「東浦駅」で平池台線と乗継可能</li> </ul>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし12月31日～1月2日は除く）
運賃	一乗車100円
総停留所	
車両	ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）
運行時間帯	<p>平日：7時台から17時台</p> <p>土日祝：9時台から17時台</p>
1便あたり所要時間	約32分～65分

起終点及び主な経過地・運行回数

新		運行 回数	運行 距離
系統①	緒川駅東口～東浦町役場～東浦駅～東浦高校下～東浦駅 ～東浦町役場～緒川駅東口	1	19.2km
系統②	緒川駅東口～東浦町役場～東浦駅～東浦高校下～東浦駅	3	11.0km
系統③	東浦駅～東浦高校下～東浦駅～東浦町役場～緒川駅東口	1	10.6km
系統④	東浦駅～東浦高校下～東浦駅～緒川駅東口	1	9.8km

旧		運行 回数	運行 距離
-	緒川駅東口～東浦町役場～東浦駅～東浦高校下～東浦駅 ～東浦町役場～緒川駅東口	5	

#### 4. 長寿線（従来路線）

I. 長寿線	
運行経路	<p>従来と変更はありません。 東浦町と大府市の拠点間を結ぶ路線です。 緒川駅東口～長寿医療研究センター間を運行しています。</p> 
利用内容	通勤通学、買い物、通院等の日常生活の移動手段として利用されています。
新ダイヤ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿医療研究センターから緒川駅東口方面への昼間～13時台の運行便の発着時刻を見直し、通院便の利便性の向上を図っています。</li> <li>・早朝便を見直し、刈谷線の第1便に乗り継げることで、森岡地区の住民が刈谷豊田総合病院への通院便としても利用できるようにしました。</li> <li>・緒川駅東口は長寿医療研究センター行の最終便を延長し、鉄道利用者やショッピングモールの帰りの足として利便性の向上を図りました。</li> </ul>
乗換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能</li> <li>・「長寿医療研究センター」、「あいち健康プラザ」、「げんきの郷」で大府市循環バス、知多バス大府線と乗継可能</li> <li>・「森岡自然公園」、「森岡台」、「半ノ木」で知多バス大府線と乗継可能</li> </ul>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし 12月31日～1月2日は除く）
運賃	一乗車 100円
総停留所	
車両	中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：310cm） ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）

運行時間帯	平日：7時台から19時台 土日祝：9時台から19時台
1便あたり所要時間	約25分～35分

起終点及び主な経過地・運行回数

新		運行回数		運行距離
		往路	復路	
系統①	緒川駅東口～イオンモール東浦～あいち健康プラザ～長寿医療研究センター	9	8	9.4km
系統②	緒川駅東口～あいち健康プラザ	-	1	5.8km

旧		運行回数		運行距離
		往路	復路	
系統①	緒川駅東口～イオンモール東浦～あいち健康プラザ～長寿医療研究センター	9	9	9.4km

## 5. 刈谷線（従来路線）

2. 刈谷線

乗換	<ul style="list-style-type: none"> <li>「緒川駅東口」で「う・ら・ら」の他路線、知多バス「刈谷中部空港線」、JR 武豊線と乗継可能</li> <li>「刈谷駅南口」で刈谷市公共施設連絡バス、JR 東海道本線、名鉄美川線に乗継可能</li> <li>「刈谷豊田総合病院」で刈谷市公共施設連絡バス、高浜市内循環バスと乗継可能</li> </ul>
事業主体	東浦町
事業形態	一般乗合旅客運送（路線定期運行）
運行日	毎日（ただし 12月31日～1月2日は除く）
運賃	一乗車 100円
総停留所	
車両	中型バス（全長：901cm、全幅：230cm、全高：310cm） ポンチョ型バス（全長：701cm、全幅：208cm、全高：310cm）
運行時間帯	平日：7時台から19時台 土日祝：9時台から19時台
1便あたり所要時間	約20分～25分

#### 起終点及び主な経過地・運行回数

新		運行回数		運行距離
		往路	復路	
-	緒川駅東口～イオンモール東浦～刈谷豊田総合病院～刈谷駅南渕 ※刈谷豊田総合病院では、往路は降車・復路は乗車のみ	7	7	5.5km

旧		運行回数		運行距離
		往路	復路	
系統①	緒川駅東口～イオンモール東浦～刈谷豊田総合病院～刈谷駅南渕 ※刈谷豊田総合病院では、往路は降車・復路は乗車のみ	9	8	5.5km
系統②	緒川駅東口～イオンモール東浦～刈谷豊田総合病院	-	1	4.4km